

保健事業に係る研究の情報公開文書

子宮頸がん検診結果とヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチン接種歴の記録照合による HPV ワクチンの有効性評価に係る研究

尾道市では、大阪大学、佐賀大学及び新潟大学が共同で実施する HPV ワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）の有効性評価に関する研究に協力しています。

尾道市の保健事業で実施した子宮頸がん検診の結果及び HPV ワクチンの接種歴の記録を照合することにより、HPV ワクチンの有効性を評価するための研究です。すでに尾道市が保有している情報を利用させていただく研究ですので、対象となられた市民の皆様に、あらためて何かをお尋ねすることはありません。また、対象となられた皆様の情報を個別に検討するのではなく、地域集団の統計データとして分析します。この研究は、大阪大学が設置する倫理委員会で、文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づく審査を受け、承認を得て実施するものです。

1 研究の目的

本研究は、HPV ワクチンの有効性を検証することを目的とします。

2 研究の対象

平成 25 年度～令和 2 年度の間、20～26 歳で尾道市の子宮頸がん検診を受診された 1991 年度～1996 年度生まれの方

3 研究方法

上記対象者のうち、細胞診で異常ありを症例とし、症例 1 人に対し、生年度が同一である対照（細胞診で異常なし）5 人を選び、研究対象者として、当該研究対象者について、HPV ワクチンの接種歴を照合し、HPV ワクチンの有効性を評価します。

4 研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる情報は、尾道市の保健事業で得られる以下の既存情報に限られます。年齢、子宮頸がん検診受診日、細胞診（ベセスダ判定または日母分類）結果、精密検査結果、過去の子宮頸がん検診における異常の指摘の有無、HPV ワクチン接種歴

5 外部への試料・情報の提供

データベース作成及びデータ提供は、研究関係者以外はアクセスできない状態で行います。個人のデータは匿名化し、電子媒体で研究機関に提供します。

6 予定研究期間

倫理審査委員会承認日～2023年3月31日

7 研究組織

研究代表者：新潟大学医学部産科婦人科学教室 榎本 隆之

研究分担者：佐賀大学医学部社会医学講座予防医学分野 原 めぐみ

研究分担者：大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学教室 上田 豊

8 お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら次の連絡先までお問い合わせください。

また、情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には、研究対象とはしませんので、次の連絡先までお申し出ください（2022年12月以降は情報利用拒否の申し出に応じられない場合があります）。なお、その場合でも尾道市の保健事業に関する不利益が生じることはありません。

（研究に関するお問い合わせ）

大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学教室 上田 豊

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

電話：06-6879-3351

（情報利用拒否に関するお問い合わせ）

尾道市福祉保健部健康推進課

〒722-0017 尾道市門田町 22-5

電話：0848-24-1962